

税金の使い道とコロナウイルス

筑西市立下館中学校

三年 鳥羽 夏希

私は、子どもの頃からあまり一人で買い物をしたことがありませんでした。本やお菓子や洋服を買うときはたいてい家族が一緒だったので、買いたいものを自分で選んだ後、会計は家族に任せていました。

先日、本当に久しぶりに、ショッピングセンターに買い物に行きました。ちょうど家族が違う売り場で買い物していたため、私は自分のお財布を持っていたので、国語のノートを買うため、久しぶりに自分でレジに並びました。百九十円のノートだったので二百円を用意していたら、店員さんに

「二百九円です。」

と言われ、慌てて、もう十円をお財布から用意しました。

「そうだった。消費税がかかるんだった。」

売り場の値札をもう一度見てみると、税抜価格と税込価格が両方表記されていました。税抜価格のほうが大きく書いてあったので、私はその値段だと勘違いしてしまったのでした。

「消費税って高いなあ。十パーセントって、千円の商品だと百円、一万円だと千円もする。なんで税金ってあるんだろう。」

私は、税金についてインターネットで調べてみました。

税金の使い道は、医療や介護などの社会保障や警察、消防などに使われていることが分かりました。もし税金がなかったら、災害や事故にあっても消防車や救急車や警察官がすぐに来て対応してくれません。

また、けがをしたり、病気にかかって病院で手当してもらっても高額な費用がかかってしまいます。このように、税金は私たちの暮らしに必要な不可欠なもののために使われていることが分かりました。

今年の特に、新型コロナウイルス対策による生活支援を目的にした「特別給付金」として、中学生の私にも、十万円が給付されました。「税金はこんなふうにも使われるのか。」と、税金の使い道をまさに実感しました。赤ちゃんから大人まですべての国民に、外国人も含めて給付されました。

コロナという災害のため、日本に暮らす全ての人は、生活が一変し、三密等を避けるなど、今までと違った新しい生活様式で暮らすなければならなくなりました。

今、日本では、すべての人が我慢をしていると思います。

千葉で仕事をしながら一人暮らしをしている兄も今年の夏は帰省も旅行もできませんでした。

私の中学校生活も、今までとは違ってきます。来年もどうなっているか分かりません。でも、その時その時、正しいと思う生活をしていこうと思います。また、コロナの影響で税金を払うことの大切さを知ることができました。